

安定性、殺菌効果が優れた次亜塩素酸ナトリウム製剤

哺乳びん・乳首・医療器具等消毒液

ピュリファン®P

次亜塩素酸ナトリウム 1%液

PURIPHAN® P

哺乳びん・乳首の消毒、
医療器具等の消毒に



ピュリファン®P

PURIPHAN®P

次亜塩素酸ナトリウムは一般細菌から緑膿菌、真菌、結核菌、ウイルス等、広範囲な抗微生物スペクトルを示し、中水準に分類される、殺菌効果が優れた消毒剤です。しかし、次亜塩素酸ナトリウム製剤は一般的にその濃度が高い程、また、含有する塩化ナトリウムの濃度が高い程安定性が悪くなります。

ピュリファンPは有効成分として次亜塩素酸ナトリウムを1%含有する消毒剤で、独自の製法によりその安定性を高めており、哺乳びん・乳首をはじめ、医療器具、環境設備、衣類・リネン類、上水道・プール等での水の殺菌消毒など、幅広い用途に使用することができます。

特性

1. 広範囲な抗微生物スペクトルを有しています^{1,2)}。

一般細菌	緑膿菌 セバシア	結核菌	真菌	芽胞菌	一般 ウイルス	HBV・HCV HIV
○	○	○	○	△	○	○

○：有効 △：高濃度の場合や時間をかけば有効となる場合がある。

2. タンパク質と接触して塩化ナトリウムに分解されるので、残留性がほとんどありません。

3. 金属腐食性や脱色作用があります。

組成・性状

組成

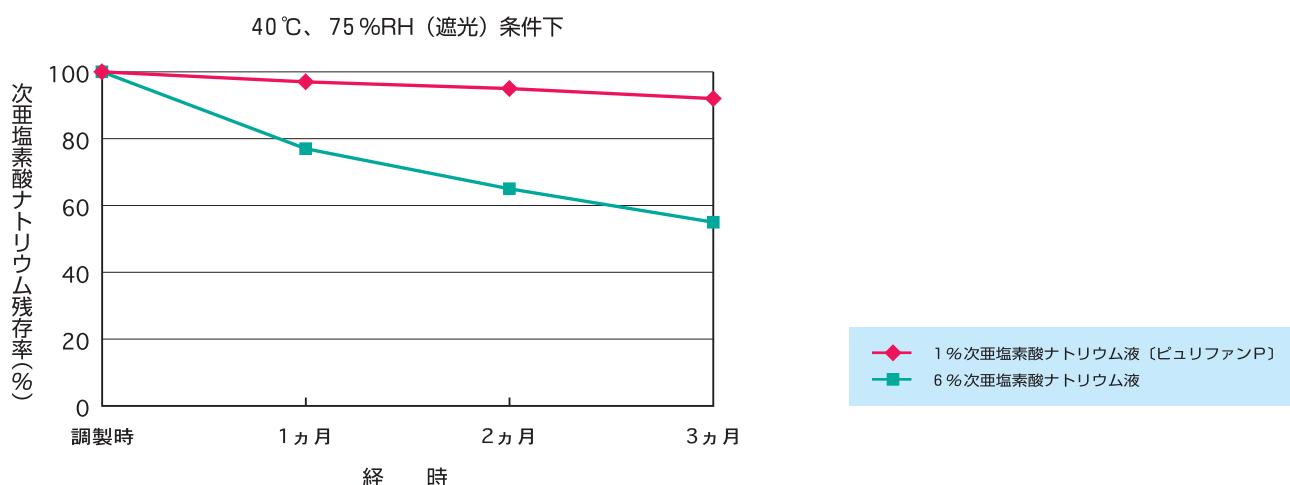
次亜塩素酸ナトリウム 1%

安定性

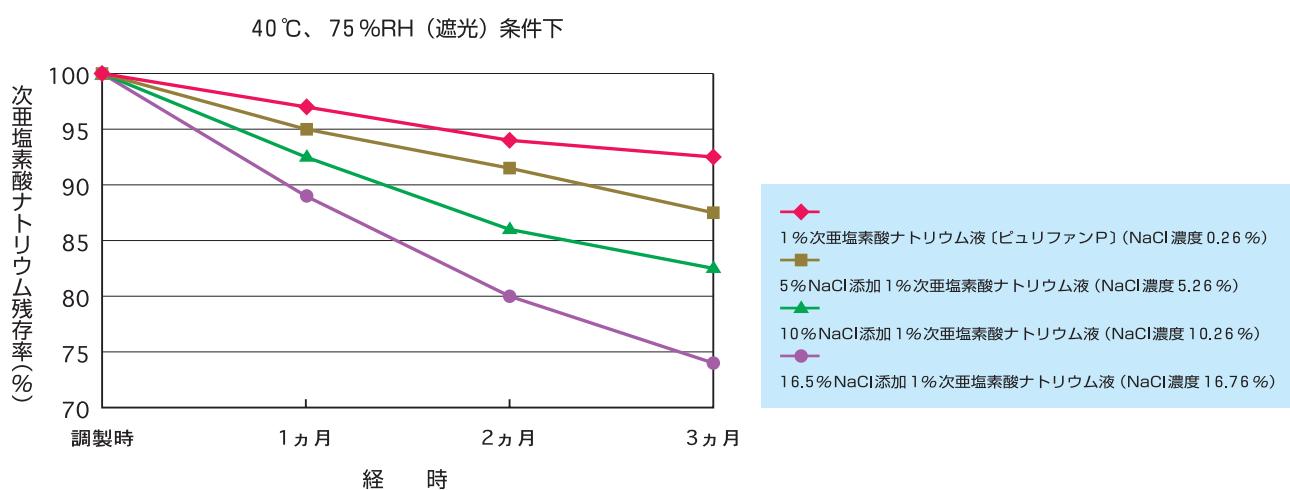
次亜塩素酸ナトリウムは通常安定性が悪く、自然分解、加熱分解、光分解等により含量が低下し、その分解は次亜塩素酸ナトリウムの濃度が高い程、また含有する塩化ナトリウムの濃度が高い程急速であることが報告されています^{3~5)}。

ピュリファンPは独自の製法により、次亜塩素酸ナトリウム濃度を1%とし、含有する塩化ナトリウムを極力抑えた製剤なので安定性が優れています⁵⁾。

1. 次亜塩素酸ナトリウム濃度が安定性に及ぼす影響



2. 塩化ナトリウム濃度が安定性に及ぼす影響（1%原液）



●西野武志 他：消毒剤次亜塩素酸ナトリウム溶液の安定性及び殺菌力に対する塩化ナトリウム濃度の影響、
化学療法の領域 15 (10) : 119 – 130, 1999. 一部改変.

殺菌効果 (*in vitro*試験)

グラム陽性菌、グラム陰性菌の計9菌種に対し、ピュリファンPの80倍希釈液(0.0125%)の*in vitro*における殺菌効果について試験した結果、有機物を添加しない場合、乾燥酵母または粉ミルクを添加した場合のいずれの場合においても迅速な殺菌効果を示しました。

菌 種 ^{*1}	殺 菌 時 間		
	Clean 条件	Dirty 条件(1) ^{*2}	Dirty 条件(2) ^{*3}
<i>Staphylococcus aureus</i> IFO 12732	15秒以内	30秒間	15秒以内
<i>Staphylococcus aureus</i> (臨床分離株, MRSA K-1)	15秒以内	15秒以内	15秒以内
<i>Staphylococcus epidermidis</i> ATCC 12228	15秒以内	15秒以内	15秒以内
<i>Escherichia coli</i> IFO 3806	15秒以内	15秒以内	15秒以内
<i>Escherichia coli</i> ATCC 43889 (O157:H7)	15秒以内	15秒以内	15秒以内
<i>Proteus vulgaris</i> IFO 3988	15秒以内	15秒以内	15秒以内
<i>Serratia marcescens</i> IFO 12648	15秒以内	15秒以内	15秒以内
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> IFO 3080	15秒以内	15秒以内	15秒以内
<i>Burkholderia cepacia</i> IFO 15124	15秒以内	15秒以内	30秒間

* 1 : 接種菌量 $10^6 \sim 9$ cells/mL

* 2 : 乾燥酵母 0.05% 添加

* 3 : 粉ミルク 0.2% 添加

●西野武志 他：消毒剤次亜塩素酸ナトリウム溶液の安定性及び殺菌力に対する塩化ナトリウム濃度の影響、
化学療法の領域 15(10) : 119 - 130, 1999. 一部改変.



用法・用量

ピュリファンPは哺乳びん・乳首の消毒から医療器具、器具・物品類、環境などの消毒まで幅広い用途に使用できます。

1. 哺乳びん・乳首の消毒

哺乳びん・乳首を洗浄、水洗いした後、本剤の80倍液(0.0125%)に1時間以上浸してください。



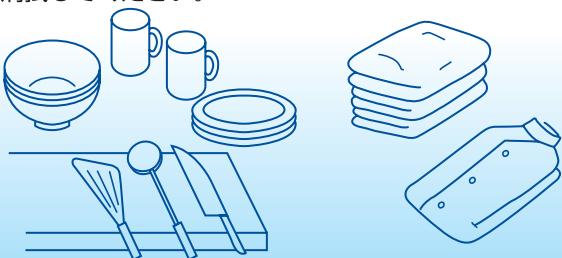
2. 医療器具の消毒

本剤の20~50倍液(0.02~0.05%)に数分間浸すか、清拭してください。



3. 器具・物品などの消毒

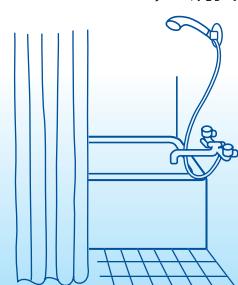
本剤の20~50倍液(0.02~0.05%)に数分間浸すか、清拭してください。



飲食器具・調理器具や
シーツ・白衣・包帯・
おむつ等の器具・物品
などの消毒に使用でき
ます。

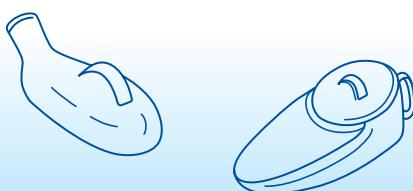
4. 室内・便所・浴室の消毒

本剤の20~50倍液(0.02~0.05%)で清拭してください。



5. 排泄物の消毒

本剤の1~10倍液(0.1~1%)を用いてください。

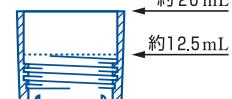


ピュリファンPの希釈方法

希釈倍数	濃度	消毒溶液1L調製時の ピュリファンPの量
10倍液	0.1%	100mL
20倍液	0.05%	50mL
50倍液	0.02%	20mL
80倍液	0.0125%	12.5mL

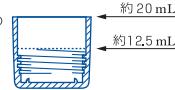


ピュリファンPのキャップ
約20mL



約12.5mL

ピュリファン®PのDRUG INFORMATION

商品名	和名	ピュリファン®P																											
	洋名	PURIPHAN®P																											
製造販売元	健栄製薬株式会社																												
日本標準商品分類番号	877329		承認番号	(8AP)124																									
薬効分類	防疫用殺菌消毒剤		承認年月	1996年3月																									
区分	第2類医薬品		販売開始年月	1997年7月																									
使用上の注意 (使用前に必ずお読みください)	<p>相談すること 次の場合は、直ちに使用を中止し、この製品を持って医師又は薬剤師に相談してください 使用後、次の症状があらわれた場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関係部位</th> <th>症状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮ふ</td> <td>あれ、発疹・発赤、かゆみ</td> </tr> </tbody> </table>			関係部位	症状	皮ふ	あれ、発疹・発赤、かゆみ	まぜるな危険	●酸性の洗浄・漂白剤、シアヌール酸系の製品と混合すると塩素ガスが発生して危険ですのでやめください。																				
関係部位	症状																												
皮ふ	あれ、発疹・発赤、かゆみ																												
効能効果量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>効能効果</th> <th>用法用量</th> <th>濃度</th> <th>消毒溶液1L調製時のピュリファンPの必要量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>哺乳びん・乳首の消毒</td><td>哺乳びん・乳首を洗浄、水洗いした後、本剤の80倍液に1時間以上浸してください。</td><td>0.0125%</td><td>12.5mL</td></tr> <tr> <td>医療器具の消毒</td><td>本剤の20～50倍液に数分間浸すか、清拭してください。</td><td>0.02～0.05%</td><td>20～50mL</td></tr> <tr> <td>器具・物品などの消毒</td><td>本剤の20～50倍液に数分間浸すか、清拭してください。</td><td>0.02～0.05%</td><td>20～50mL</td></tr> <tr> <td>室内・便所・浴室の消毒</td><td>本剤の20～50倍液で清拭してください。</td><td>0.02～0.05%</td><td>20～50mL</td></tr> <tr> <td>排泄物の消毒</td><td>本剤の1～10倍液を用いてください。</td><td>0.1～1%</td><td>100～1000mL</td></tr> </tbody> </table> <p>〈用法用量に関する注意〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●用法用量を厳守してください。（熱湯での希釈は避けてください。） ●目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。 ●酸性の洗浄・漂白剤、シアヌール酸系の製品等との混合は危険なので避けてください。 ●金属性の容器は、変質する事があるので、用いないでください。また、哺乳びんパサミ・スプーン等の金属製品や指輪等を消毒溶液につけることも避けてください。 ●調製後、消毒溶液が変色した場合は、水質が本剤には不適当なので、その水での本剤の使用を避けてください。 ●化学繊維、皮革、毛、綿製品への使用を避けてください。 ●あやまって飲みこんだ場合は、すぐに水・生卵・ミルク等を飲み、医師に相談してください。 					効能効果	用法用量	濃度	消毒溶液1L調製時のピュリファンPの必要量	哺乳びん・乳首の消毒	哺乳びん・乳首を洗浄、水洗いした後、本剤の80倍液に1時間以上浸してください。	0.0125%	12.5mL	医療器具の消毒	本剤の20～50倍液に数分間浸すか、清拭してください。	0.02～0.05%	20～50mL	器具・物品などの消毒	本剤の20～50倍液に数分間浸すか、清拭してください。	0.02～0.05%	20～50mL	室内・便所・浴室の消毒	本剤の20～50倍液で清拭してください。	0.02～0.05%	20～50mL	排泄物の消毒	本剤の1～10倍液を用いてください。	0.1～1%	100～1000mL
効能効果	用法用量	濃度	消毒溶液1L調製時のピュリファンPの必要量																										
哺乳びん・乳首の消毒	哺乳びん・乳首を洗浄、水洗いした後、本剤の80倍液に1時間以上浸してください。	0.0125%	12.5mL																										
医療器具の消毒	本剤の20～50倍液に数分間浸すか、清拭してください。	0.02～0.05%	20～50mL																										
器具・物品などの消毒	本剤の20～50倍液に数分間浸すか、清拭してください。	0.02～0.05%	20～50mL																										
室内・便所・浴室の消毒	本剤の20～50倍液で清拭してください。	0.02～0.05%	20～50mL																										
排泄物の消毒	本剤の1～10倍液を用いてください。	0.1～1%	100～1000mL																										
成 分 分 量	次亜塩素酸ナトリウム 1%																												
保管及び取扱い上の注意	<p>〈成分に関する注意〉</p> <p>消毒する製品によっては印刷面、材質等を変色（変質）する場合があるので注意してください。</p>																												
哺乳びん・乳首の消毒方法	<p>①哺乳びん・乳首を授乳後すぐにブラシと食器用洗剤で洗い、水でよくすいでください。 ②哺乳びん・乳首を消毒溶液（本剤の80倍液）中に完全に沈め、次の授乳まで1時間以上浸漬せます。 消毒溶液は、24時間ごとに新しく調製してください。 ③調乳の直前に哺乳びん・乳首を取り出し、消毒溶液をよく振りきって使用してください。</p> <p>哺乳びん・乳首の浸漬</p>  <p>哺乳びん・乳首を、中に気泡が残らないように消毒溶液中に完全に沈め、次の授乳まで1時間以上浸漬せます。消毒溶液は、24時間ごとに新しく調製してください。</p>																												
希釈方法	<p>本剤のキャップ1杯は約20mL</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調製量</th> <th>10倍液</th> <th>20倍液</th> <th>50倍液</th> <th>80倍液</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1L</td> <td>100mL</td> <td>50mL</td> <td>20mL</td> <td>12.5mL</td> </tr> <tr> <td>1.6L</td> <td>160mL</td> <td>80mL</td> <td>32mL</td> <td>20mL</td> </tr> </tbody> </table> <p>ピュリファンPのキャップ</p> 					調製量	10倍液	20倍液	50倍液	80倍液	1L	100mL	50mL	20mL	12.5mL	1.6L	160mL	80mL	32mL	20mL									
調製量	10倍液	20倍液	50倍液	80倍液																									
1L	100mL	50mL	20mL	12.5mL																									
1.6L	160mL	80mL	32mL	20mL																									
包 装	500mL、1000mL、3L																												

[詳細は添付文書等をご参照ください。]

主要文献

- 1) 小林寛伊 編：改訂 消毒と滅菌のガイドライン，ヘルス出版，2004.
- 2) 小林寛伊：消毒、滅菌ガイドー感染制御のためにー2版，中外医学社，1998.
- 3) 野瀬慎一：微生物の滅菌・殺菌・防黴技術 第2章 ハロゲン系殺菌剤，衛生技術会，p175-192，1982.
- 4) 倉谷通孝 他：消毒剤，特に次亜塩素酸ナトリウム溶液の保存性，横浜市衛生研究所年報 22: 81-84, 1983.
- 5) 西野武志 他：消毒剤次亜塩素酸ナトリウム溶液の安定性及び殺菌力に対する塩化ナトリウム濃度の影響，化学療法の領域 15(10): 119-130, 1999.

文献請求先

健栄製薬株式会社 学術情報部
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号 電話番号06(6231)5626 FAX番号06(6204)0750